

学校だより



アビラ



第96号
(通算257号)

平成 29 (2017) 年 2 月 21 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

カラカス太鼓よ！ 響け！ 南米の大地に！ 届け！ 南米の青空の遙か先に！
毎週、火曜日と木曜日の朝休みに練習してきた小さな種が、大きな大きな実になりました！

♡♡♡♡♡ 今年も日本文化週間でカラカス太鼓を発表しました！ ♡♡♡♡♡



2月18日(土)は特別な日。日本文化週間で、21年も続くカラカス太鼓を邦人や日系人、ベネズエラの方々に発表する日だからです。毎週火・木の朝休みの練習時間で培ってきた太鼓の技を見せる日です。この日だけは特別に、2時間目に太鼓練習を行いました。練習の時の気合い、目の輝き、声が違いました。



誇るべき日本の歴史と伝統！



カラカス太鼓 21年続く 日本の響き



そして、学校を12時に出て、1時前には会場入りしました。そこには、カラカスの青い空と強い日差しがありました。1時半、いよいよカラカス太鼓の発表です。途中で太鼓の紹介も入れながら、約30分間の発表でした。「子ども囃子」「アビラのひびき」「海をこえて～Las Olas～」3曲続けての発表は、初めてです。会場の方々にも、子どもたちのひたむきさ、学校としてのまとまりや熱気が届いたようで、拍手のシャワーがいつまでも降り続けました。カラカス太鼓21年の重みをずしんと感じた1日でした。